

～オーガニック最高峰の～

鹿児島有機プロジェクトとは

1998年頃より、知覧にて有機栽培を開始し、失敗と成功、様々な苦難を乗り越えて、塗木製茶工場では有機栽培のお茶の生産に挑戦して参りました。当時5ヘクタールだった圃場は2016年現在14haで、2018年には圃場のすべてが有機栽培となり、約50haで、南九州市最大の有機栽培農園となります。そのような中、2016年6月1日に鹿児島県知覧町にて、今後の有機栽培の振興、日本一健康安全安心そして、美味しい商品作りを念頭に置いて『鹿児島有機プロジェクト』を発足致しました。塗木製茶工場・浜田茶業・山形屋産業開発・水宗園本舗が生産・企画・販売を協力して行い、国内はもとより、今後需要が増加している海外への供給を視野に入れて活動をしていきます。



～美味しさへの追及～

●有機栽培のブレンド

現在、あさつゆ、ゆたかみどり、やぶきた、金谷みどり、あさのか、さえみどりといった優良品種を栽培しており、品種のブレンドによっておいしさを毎年毎年追い続けています。近年、天候不順により、品種によって大きく作柄が左右されています。その年々の作柄を見て、一番良い配合率で有機栽培茶のブレンドを行い、品質の安定を図っています。



●茶の成分分析

人による官能検査だけでなく、茶成分分析機にかけ、水分、全窒素、粗繊維、灰分、カフェイン、タンニン、遊離アミノ酸、テアニン、ビタミンC含有量をチェックし、前年との比較を元に、製品の安定性に寄与致します。

茶成分分析結果表 (5分粉砕)		サンプル情報	
項目	測定値	項目	測定値
水分	5.8	全窒素	1.8
全窒素	1.8	粗繊維	15.2
粗繊維	15.2	灰分	4.5
灰分	4.5	カフェイン	2.1
カフェイン	2.1	タンニン	12.5
タンニン	12.5	遊離アミノ酸	0.8
遊離アミノ酸	0.8	テアニン	1.5
テアニン	1.5	ビタミンC	15.0
ビタミンC	15.0		

●手間ひまをおしまない茶栽培

米ぬかや魚かすなどを使った自家製の有機肥料をたっぷりを与えたフカフカの土で、うまみの濃い茶葉を育てています。防虫対策には唐辛子、どくだみ、除虫菊などから抽出したエキスを使用し、効果を見ながら毎年改良を重ねております。さらに夏の暑い時期、草取りもこまめに行い、収穫の2週間ほど前から茶葉の上に寒冷紗をかけて日光を遮断する事で、旨味と甘みを根から吸い上げ、水色も鮮やかな緑色になります。こうした手間暇を惜しまない仕事によって品質の高い有機栽培茶が生まれます。



～健康・安全・安心への追及～

●残留農薬検査の体制

九州エリアで使用されている、柑橘系植物、さつまいも等の農産物に使用している農薬365種類を宮崎経済連直販で残留農薬検査。有機栽培は残留農薬検査を義務付けられておりませんが、近隣のさまざまな畑からのドリフト(飛散)の可能性を考慮して現状28圃場を自主検査しております。また、有機栽培で使用が認められている125種類の有機認証農薬の検査も最終検査で実施しております。

